

# HiKOKI

## 取扱説明書

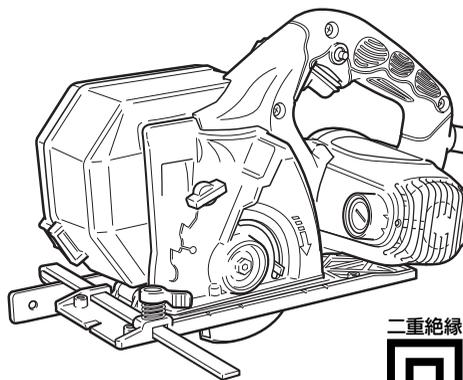
用途

● 各種材料の切断

## 集じん丸のこ

### 100 mm C 4YA2

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
集じん丸のこの使用上のご注意	4
各部の名称	7
仕様	8
標準付属品	9
別売部品	10
用途	11

はじめに

ご使用前の準備	12
ご使用前の点検	13
集じん機能の使い方	15

準備

切断する	17
のこ刃の取りはずし・取付け	19
切りくずの捨て方と掃除	21
ガイドの使い方	23
フッ素プレートの使い方	24

使い方

保守・点検	25
ご修理のときは	裏表紙

その他

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
  - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。  
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

## 警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
  - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
  - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
  - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - 延長（継ぎ）コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。

## ⚠ 警告

- ⑩⑥ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑩⑦ **不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチを引きストッパがはずれていること（連続運転の状態のままになっていないこと）を確かめてください。
- ⑩⑧ **屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。**
- 屋外で延長（継ぎ）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑩⑨ **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑩⑩ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑩⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑩⑫ **電動工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に回マークで表示してあります。

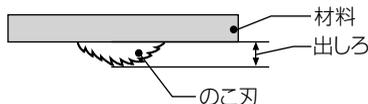
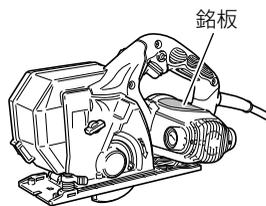
純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

## 集じん丸のこの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、集じん丸のこのこととして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
  - のこ刃が露出していると、けがの原因になります。
- ③ のこ刃は、銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。また、歯底径が 63 mm 以下ののこ刃は使用しないでください。
  - 保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。
- ④ 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。
  - 台が不安定であると、けがの原因になります。
- ⑤ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
  - のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
- ⑥ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。
  - このような台がないと、けがの原因になります。

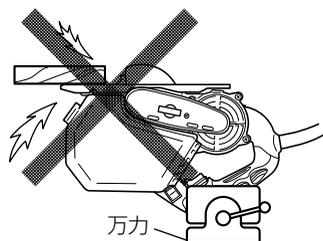


## 警告

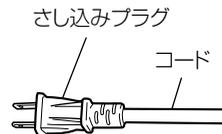
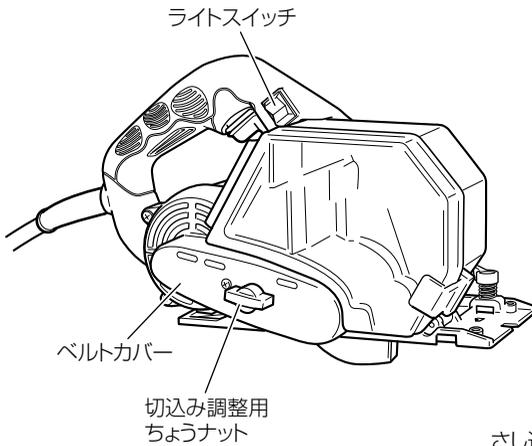
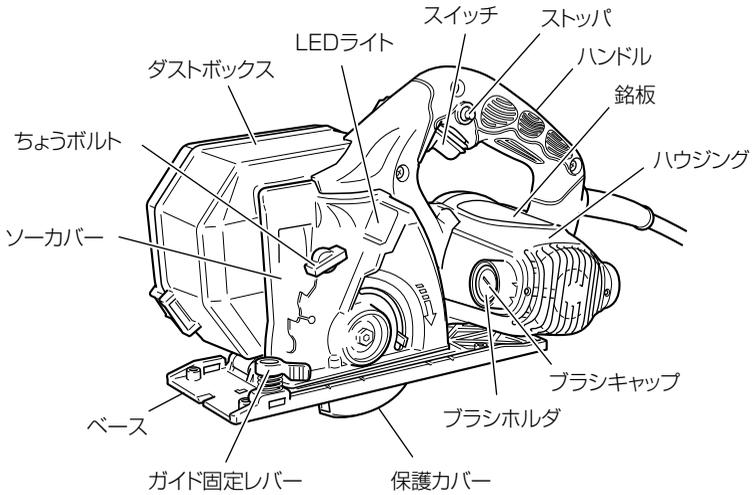
- ⑦ 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
  - けがの原因になります。
- ⑨ 切断途中で、のこ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
  - 回転させたまま本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑩ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
  - そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ 耳栓を使用してください。
  - 金属サイディング切断時には、大きな金属音が出ます。

## ⚠️ 注意

- ① 刃物類（のこ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、本体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
  - 異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
  - 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑥ 材料に釘などの異物が付いてないことを確認してください。
  - 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑦ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
  - 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- ⑧ 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。
  - 感電の恐れがあります。
- ⑨ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
  - 不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑩ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
  - 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑪ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - けがの原因になります。



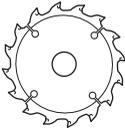
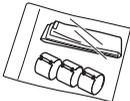
# 各部の名称



# 仕 様

項目	形名	C 4YA2
使 用 電 源		単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
最大切込み深さ		26 mm
の こ 刃 (チップソー)		外径 100 mm × 穴径 20 mm
		刃数 14
無 負 荷 回 転 数		13,000 min <sup>-1</sup> {回/分}
全 負 荷 電 流		8 A
消 費 電 力		750 W
モ ー タ ー		単相直巻整流子モーター
質量 (コードを除く)		3.2 kg
コ ー ド		2心キャブタイヤケーブル： 5 m 0.25 m (SN仕様のみ)

# 標準付属品

標準付属品	形名・(仕様)	C 4YA2	C 4YA2(N)	C 4YA2(SN)
① チップソー (本体装着)		1 枚 一般・硬質窯業系 建材用チップソー	(別売)	(別売)
② スパナ		2 個	2 個	2 個
③ ガイド		1 個	1 個	1 個
④ ホースカバーセット		(別売)	(別売)	1 組
⑤ 継ぎコード (5 m)		(別売)	(別売)	1 本

# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

## 警告

•別売部品を使用の際も保護メガネを使用してください。

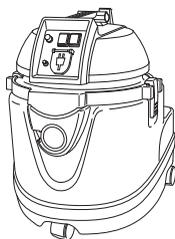
### のこ刃

のこ刃やチップソーにつきましては、カタログを参照してください。またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



### 電動工具用集じん機

この機種をご使用の際は、電動工具用集じん機に接続して使用することをおすすめします。お買い求めの販売店にご相談ください。(P.16 参照)



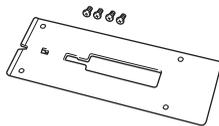
### 継ぎコード (5 m)

※ (SN) 仕様に標準付属しています。



### フッ素プレート

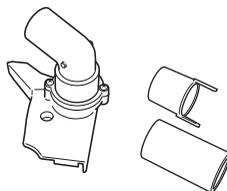
石こうボードを切る際にご使用ください。付属の特殊ねじ (4 本) をお手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。(P.24 参照)



**注** 石こうボード切断専用です。石こうボード以外の切断を行うと、フッ素プレートのフッ素コートが剥がれ、フッ素プレートの滑りが悪くなります。

### 集じんアダプタセット

集じん機で集じんする場合に使用します。(P.15 参照)



### ホースカバーセット

集じん機のホースと集じん丸のこの電源コードを 1 本にまとめます。(P.16 参照)

※ (SN) 仕様に標準付属しています。



# 用途

○各種材料の切断……………下表を参照してください。

	刃物	切断できる材料
標準付属品	一般・硬質窯業系 建材用チップソー	○木材 ○ファイバボード ○外壁・モルタル下地材 ○窯業系サイディング ○パーティクルボード ○硬質細木片セメント板
別売部	一般・硬質窯業系 建材用チップソー	○集成材 ○スレート ○樹脂管、塩ビ板 (アクリル、※ FRP 等)
	一般・硬質窯業系 建材用ダイヤチップソー	○合板 ○木毛セメント板 ○硬質窯業系サイディング
品	金属サイディング用 チップソー	○※※金属サイディング ○アルミサイディング
	石こうボード用 チップソー	○石こうボード

※ FRP は厚さ 15 mm まで切断できます。それ以上の厚さのものを切断しますと、モーターに無理がかかり、モーターやベルトを傷める恐れがあります。

※※金属サイディング：鉄板の厚さが 0.3 mm のものまで切断できます。  
0.3 mm 以上の金属サイディングは切断できません。

**注** チップソーは材料に合わせて、正しく使い分けてください。  
チップソーの選択を誤ると、すぐに切れなくなり、モーター部に無理がかかります。  
また、ベルトの寿命を短くします。

# ご使用前の準備

## ●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

## ●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

- 本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

## ●延長（継ぎ）コードを使う場合

### ⚠警告

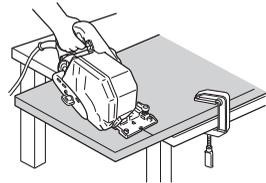
- 延長（継ぎ）コードは損傷のないものを用意してください。

- 電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。
- SN仕様の製品は、標準付属品または表の延長コードをご使用ください。

導体公称断面積 (mm <sup>2</sup> )	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

## ●作業台（木製）を用意します

- のこ刃が材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。
- 材料の切り残し側を、しっかり押さえてください。
- バイスで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。



## ●ダストボックスまたは集じん機を用意します

- 本機をご使用するには、ダストボックスまたは別売りの電動工具用集じん機を取付けてご使用ください。取付け方は、P.15、16の「集じん機能の使い方」を参照してください。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# ご使用前の点検

## 警告

- 使用前に次のことを確認してください。手順①、②、④～⑦については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

- 注**
- 切断トイシは使用できません。
  - 木材以外を切断すると、ベース面に傷が付きやすくなります。

## 1 ストッパがはずれていることを確かめます

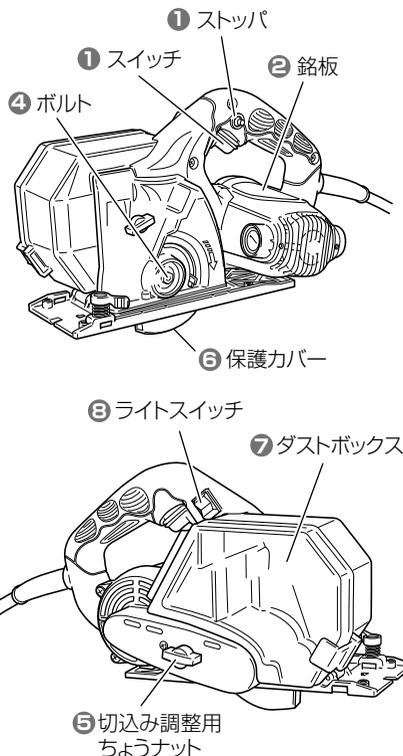
- ストッパが入っている（連続運転の状態になっている）のを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- スイッチを引きストッパがはずれていることを確認してください。（P.18の「スイッチについて」参照）

## 2 電源を確かめます

- 必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

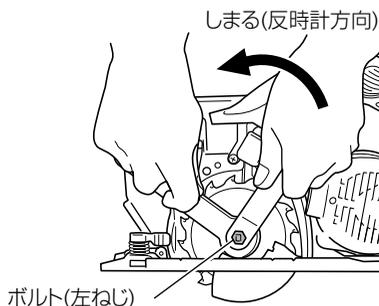
## 3 コンセントを確かめます

- コンセントがガタついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



## 4 のこ刃の締付けを確かめます

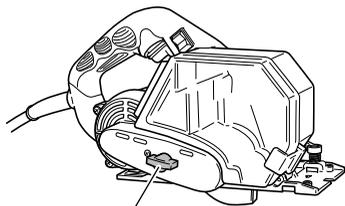
- 付属のスパナでボルトを反時計方向に締付けます。（P.19、20の「のこ刃の取りはずし・取付け」参照）



5

## 切込み調整用ちょうナットの締付けを確かめます

(P.17の①参照)



切込み調整用  
ちょうナット

6

## 保護カバーの動きを確かめます

- 保護カバーは、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。
- 必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。

7

## ダストボックスまたは集じん機の取付けを確かめます (P.15、16 参照)

8

## ライトの点灯を確かめます

- ライトスイッチの「ON」側を押すと点灯し、「OFF」側を押すと消灯します。
- LED ライトはソーカバーと刃先の側面から照射します。

## 警告

- 切込み調整用ちょうナットが十分に締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 保護カバーは、絶対に固定しないでください  
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

**注** ⑥ 保護カバーが円滑に動かない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

**注** • ライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。  
ライトのレンズ部などに傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

• ライトのスイッチに、取付けてある防じん用カバーに傷を付けたり、防じん用カバーを破いたりしないように注意してください。

# 集じん機能の使い方

## ⚠ 警告

- 集じんアダプタセット、集じん機の取付け・取はずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。思わぬ事故の原因になります。
- 集じん機の使用方法、集じんできる切りくずなどについては、集じん機の取扱説明書をよくお読みください。

## ● 集じんアダプタセット（別売部品）の取付け方

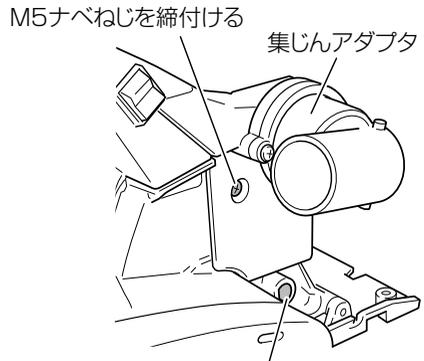
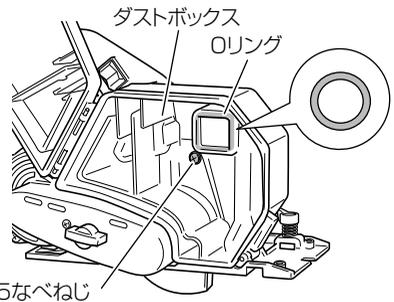
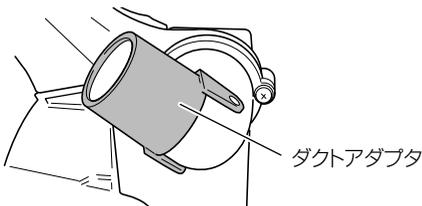
集じん機 (RP 30YD2 など) で集じんするときには使用します。

- (1) ダストボックスのふたを開き、M5 ナベネジをゆるめて、ダストボックスとOリングを本体から取りはずします。
- (2) 集じんアダプタを本体に取付け、M5 ナベネジを締付け、固定します。

- 注**
- Oリングはダストボックスを取付ける際、必要ですのでダストボックスと共に大切に保管してください。
  - ダストボックスを取りはずすと、ダストボックスとかん合していた穴が露出しますが、この穴には何も挿入しないでください。
  - 集じんアダプタは、集じん丸のこの接続専用ですので、ダストバッグなどの接続には使用しないでください。

### ダクトアダプタについて

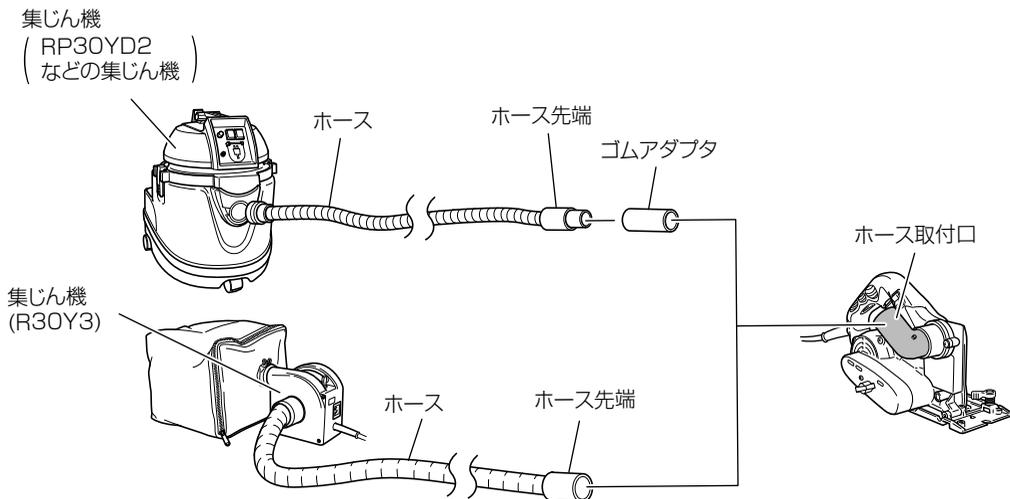
他社製集じん機でホース内径φ38をお使いの場合は集じんアダプタセットに付属のダクトアダプタをご使用ください。



この穴には、何も挿入しないでください。

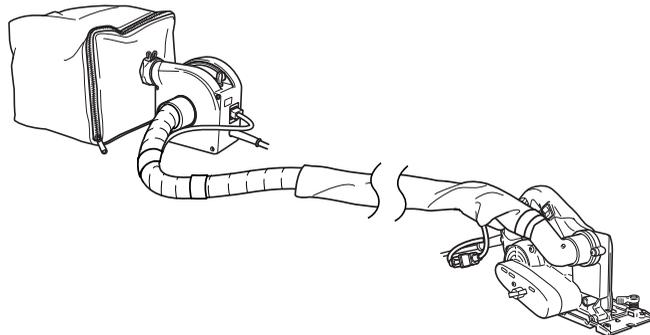
## ●集じん機の取付け方

集じん機に付属されているホースをホース取付口にさし込みます。  
RP 30YD2 などの集じん機に接続する場合は、集じん機に付属のゴムアダプタまたは集じんアダプタセットに付属のゴムアダプタが必要になります。



### ホースカバーセットの取付け方 (SN 仕様に標準付属)

ホースカバーセットに付いている説明書をお読みいただき、取付けてください。



# 切断する

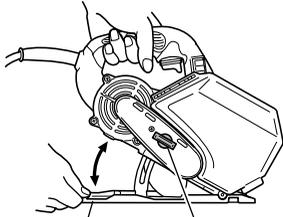
## 警告

- 万一の事故を防止するため、①はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。  
反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、この刃の寿命を短くします。
- この刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。  
けがの原因になります。

# 1

## 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整します

- 切込み調整用ちょうナットをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み調整用ちょうナットを締付けてベースを固定します。

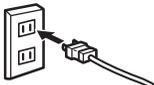


ベース 切込み調整用ちょうナット

- 注** ●切込み深さを調整するときは、ベースと本体の間に指などをはさまれないよう注意してください。

# 2

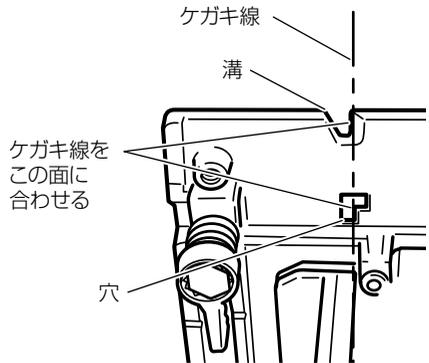
## 電源プラグをコンセントにさし込みます



# 3

## ケガキ線に合わせます

- 材料の上に本体（ベース）をのせ、ケガキ線にベース切欠部と穴を合わせます。

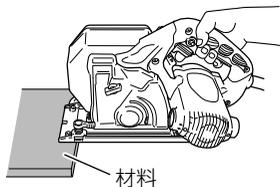


- ガイドを使って切断する際には P.23 を参照してください

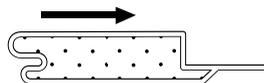
# 4

## スイッチを入れ、ゆっくり前方に進めます

- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、のこ刃の回転が最高速になりましたら、ゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。  
(下の「スイッチについて」参照)



- 注**
- 木毛セメント板や硬質細木片セメント板などを切断したのこ刃で、プラスチックや木材を切断すると切くずが大きくなり、本体内につまりやすくなります。プラスチックや木材はできるだけ新しい切れ味のよいのこ刃を使用して切断してください。
  - ダストボックス内に切りくずが満杯になったままで使用すると、排出口に切りくずが詰まり、集じん力が低下します。切りくずが満杯になる前に早めに捨ててください。
  - 金属サイディングを切断するときは、金属側を下側にして切断してください。上側になると、表面のバリが大きくなります。
  - 金属サイディングは右図に示す方向から切断してください。逆方向から切断すると表面のまくれが大きくなります。
  - フッ素プレート（別売部品）を取付けたときは、滑りが良いためモータ部に無理がかかりやすくなっています。本体を強く押しすぎないでください。



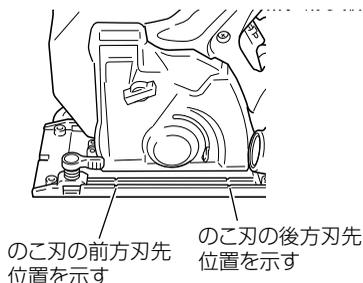
### ● スイッチについて

スイッチをいっばいに引いた状態でストップを押すと連続運転になります。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストップがはずれてから指をはなします。



### ● 刃先の位置について

ベースに付いている凹部は、のこ刃の位置を示します。切り始め、切り終わりの刃先の位置が確認でき、材料を途中まで切断するときなどに便利です。

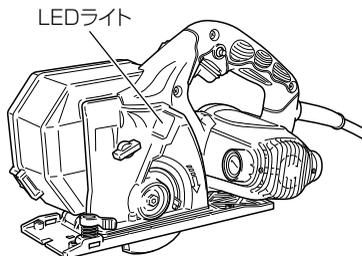


# のこ刃の取りはずし・取付け

## ⚠ 警告

- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。思わぬ事故の原因になります。
- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください。

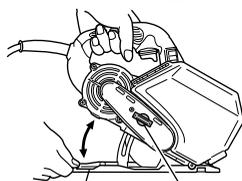
- 注** • のこ刃の取りはずし・取付けの際はライト部を傷つけないように作業を行ってください。



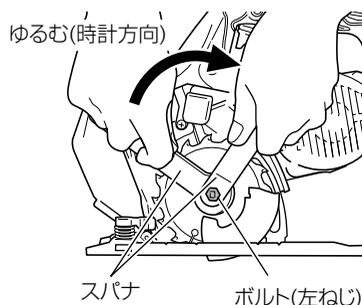
## ● のこ刃の取りはずし

- 1** 切込み調整用ちょうナットをゆるめ、切込み深さを最小にします

(P.17の①参照)

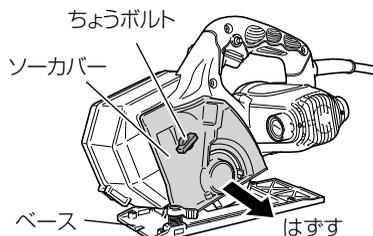


- 3** 付属のスパナでボルトを時計方向に回し、ボルトとワッシャ(A)をはずします

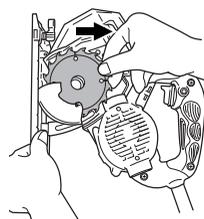


- 2** ソーカバーをはずします

- ちょうボルトをゆるめて、矢印の向きにソーカバーを取りはずします。



- 4** のこ刃を取りはずします



## ● のこ刃の取付け

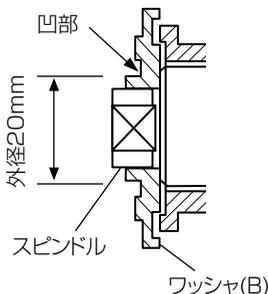
### 1 切込み調整用ちょうナットをゆるめ、切込み深さを最小にします

(P.17の①参照)

- スピンドルや、ワッシャ(A)、ワッシャ(B)に付いている切りくずをよくふき取ってください。

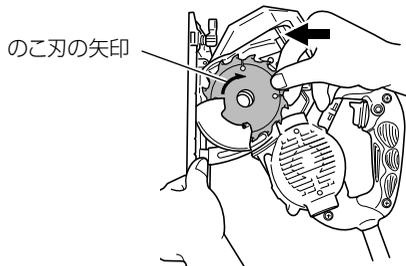
### 2 ワッシャ(B)の凹部をのこ刃側にして取付けます

- ワッシャ(B)は、穴径20mmののこ刃だけが取付けできるようになっています。



### 3 のこ刃を取付けます

- のこ刃の矢印がソーカバリの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。



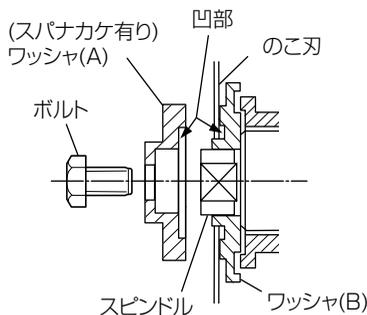
## ⚠ 警告

- ボルトの着脱は付属のスパナで作業してください。  
付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

- 注**
- ワッシャ(B)の取付け方を誤ると、のこ刃を取付けることができません。
  - ワッシャ(A)、ワッシャ(B)は必ず本体に取付けてあるものを使用してください。

### 4 のこ刃を固定します

- ワッシャ(A)の凹部をのこ刃側にして取付け、スパナでボルトを反時計方向に十分に締付けます。  
(P.13の④参照)



### 5 ソーカバーを取付け(P.19の②参照)、切込み深さを調整し、切込み調整用ちょうナットを締付けます

(P.17の①参照)

- のこ刃が円滑に回転することを確認します。

# 切りくずの捨て方と掃除

ダストボックス内に切りくずがたまりすぎますと、集じん力が低下します。満杯になる前に切りくずを早めに捨ててください。

## ⚠ 警告

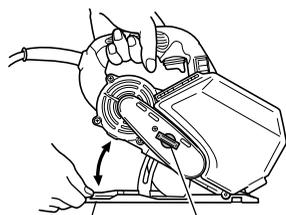
- ソーカバーの取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。思わぬ事故の原因になります。
- ダストボックスの開閉・掃除の際は、安定した台や床の上で行ってください

## ⚠ 注意

- 材料によっては、切断直後、切りくずが高温になります。直接、切りくずに手を触れないようにしてください。

## ● 切りくずの捨て方

- ### 1 切込み調整用ちょうナットをゆるめ、切込み深さを最大にします (P.17の①参照)

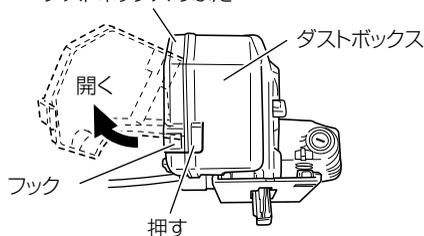


ベース 切込み調整用ちょうナット

- ### 2 切りくずを捨てます

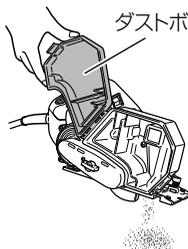
- ダストボックス前方にあるフックを押し、ダストボックスのふたを開き、切りくずを捨てます。

ダストボックスのふた



押す

ダストボックスのふた



- ### 3 掃除します

- ダストボックス内に付着している切りくずを乾いた布等できれいにふきとり、内部がよく見えるようにしてください。
- ふたを閉じて、フックを掛けてください。

- 注** • ダストボックスは、ていねいに取扱ってください。たたきつけたりすると、破損の原因になります。
- 切りくずを捨てる時に、本体のモーター部に切りくずが入らないようにしてください。

## ● 排出口に切りくずが詰まった場合の取除き方

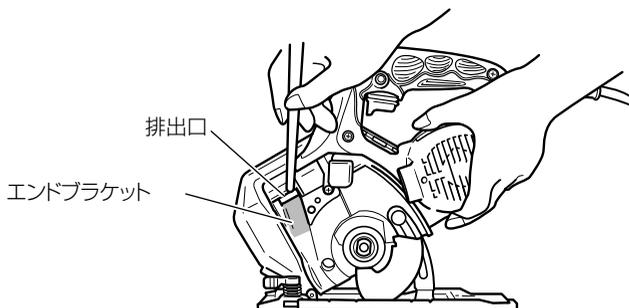
ダストボックス内に切りくずをためすぎたときやプラスチック、湿った材料を切断したときなどに、エンドブラケットの排出口に切りくずが詰まる場合があります。このようなとき（切りくずが吸い込まれなくなるのでわかります）は、ただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、つまった切りくずを次のようにして取除いてください。

### 1 のこ刃を取りはずします

- ソーカバーをはずして、のこ刃を取りはずします。  
（P.19の「のこ刃の取りはずし」参照）

### 2 切りくずを取ります

- 排出口につまった切りくずを割りばしなどで取除きます。



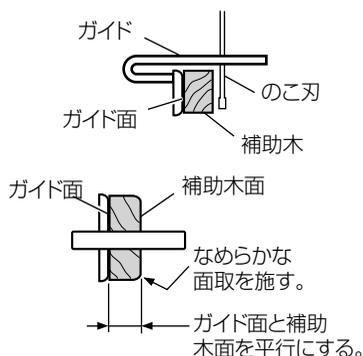
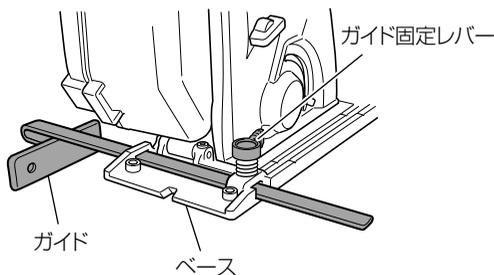
### 3 のこ刃を取付けます

- のこ刃、ソーカバーを元通りに確実に取付けてください。  
（P.20の「のこ刃の取付け」参照）

# ガイドの使い方

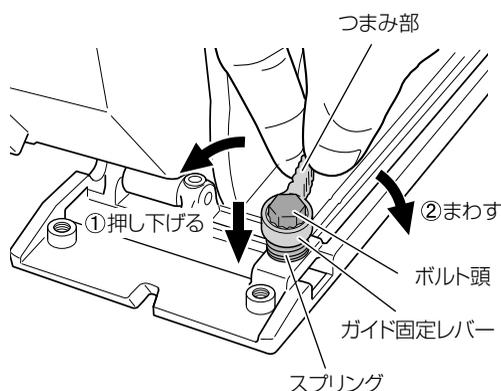
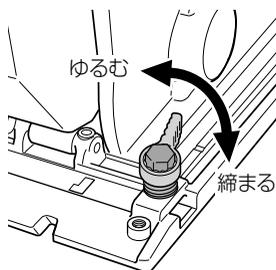
ガイドは材料の端面に対して平行に切断するときを使用します。

- ① ガイドのガイドバーを、ベース側面（切り落とし側）前方の穴に通します。
- ② ガイドを左右に動かして切断位置を調整し、前方のガイド固定レバーを締付け、ガイドバーをしっかりと固定します。
- ③ ガイド面からのこ刃までの寸法を詰めたいときは、ガイド面の穴を使って、補助木を取付けてください。



## ●ガイド固定レバーのノブ位置調整

ガイド固定レバーを押し下げると、ボルト頭との合わせがはずれて自由に回転します。ガイドをしっかりと固定した後は、ガイド固定レバーを押し下げて、切断作業時のじゃまにならない位置につまみ部を回転させてください。



# フッ素プレート (別売部品) の使い方

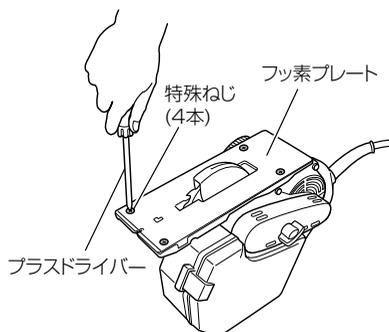
石こうボードを切る際にご使用ください。

**注** • 石こうボード切断専用です。

- 石こうボード以外の切断を行うとフッ素プレートのフッ素コートが剥がれ、フッ素プレートの滑りが悪くなります。
- 切断する時は、滑りが良いためモータ部に無理がかかりやすくなっています。本体を強く押しすぎないでください。

## 取付け方

フッ素プレートは付属の特殊ねじ (4本) を、お手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。



# 保守・点検

## ⚠ 警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ● のこ刃の点検

- 切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。新品と交換してください。

## ⚠ 警告

- 切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

## ● 本体はきれいに

- 石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

## ● 機体の点検

- 各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

## ● ベルトの交換

- ベルトのスリップ音（キュツ、キュツという音）が出やすくなりましたら早めに新品と交換してください。

## ● ダストボックス内の掃除

- 切りくず等がたまらないように定期的に点検・掃除してください。

## ● 保護カバーの動作点検と保守

- 保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。  
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

## ● 製品や付属品の保管

- 使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

### 注

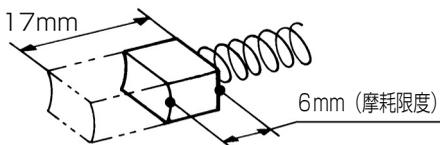
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所には保管しないでください。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しないでください。

## ●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(6mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

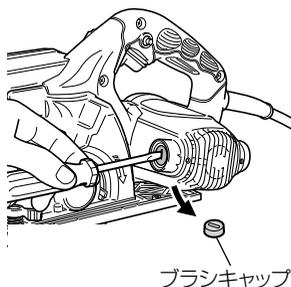
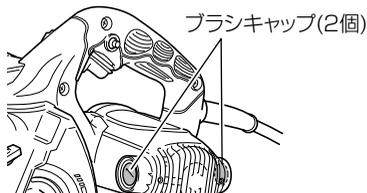
- 注**
- 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。
  - 新品交換後の運転でカーボンブラシから臭いが出ますが、故障ではありません。5分間ほど無負荷運転をすることによって、臭いは少なくなります。



## ●カーボンブラシの交換方法

### 1 ブラシキャップをはずします

- マイナスドライバーなどでブラシキャップを反時計方向に回してはずします。



### 2 カーボンブラシを取り出します



### 3 新しいカーボンブラシを取付けます

- ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。

### 4 ブラシキャップを取付けます

- ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながらマイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認  
いただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>

部品コード C99164803 806 N